

2024年3月27日
一般社団法人日本旅行業協会

有識者委員会委員長談話

当委員会は、コロナ禍における厳しい経済環境のもと旅行業界において続発した一連の不正事案の調査分析を行い、認識・知識不足、業務管理体制の不備、利益を過度に指向する風土及びコンプライアンス軽視の姿勢等の原因を指摘し、再発防止策を提言した。

不正事案の発生は旅行業界全体への悪印象を招きかねず、日本旅行業協会及び会員企業は、提言した再発防止策を迅速かつ適切に実行に移し、二度と同様の不正事案が生じないように不断に最善の努力を傾注すべきである。

一方で国の重要施策たる観光立国を担う旅行業の将来を過度に悲観する必要はないが、会員各社におかれては、社会の期待に応じてコンプライアンス体制を見直し、魅力ある旅行業の本分を遺憾なく発揮できる風土に改革されることを強く願う次第である。

以上